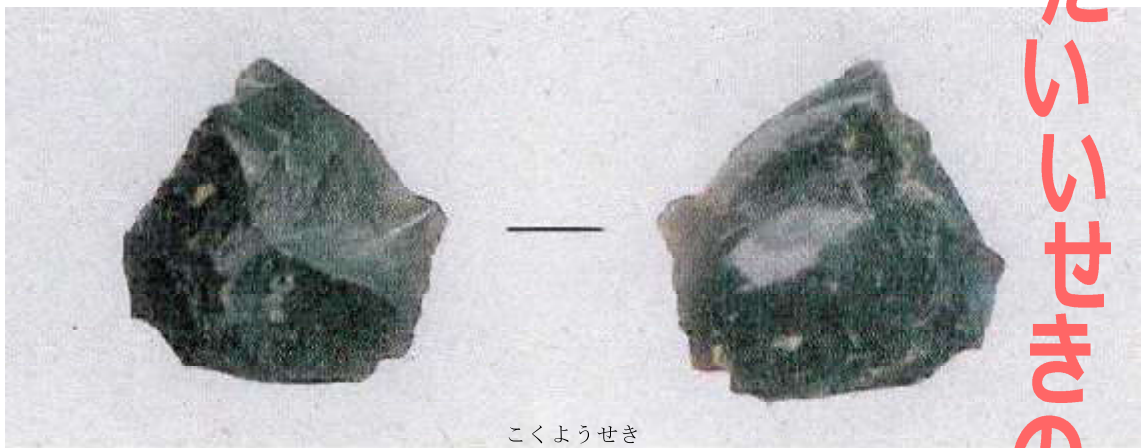




NO36

小申台遺跡調査区遠景（北西方向に牛久大仏を望む）



こくようせき
黒曜石

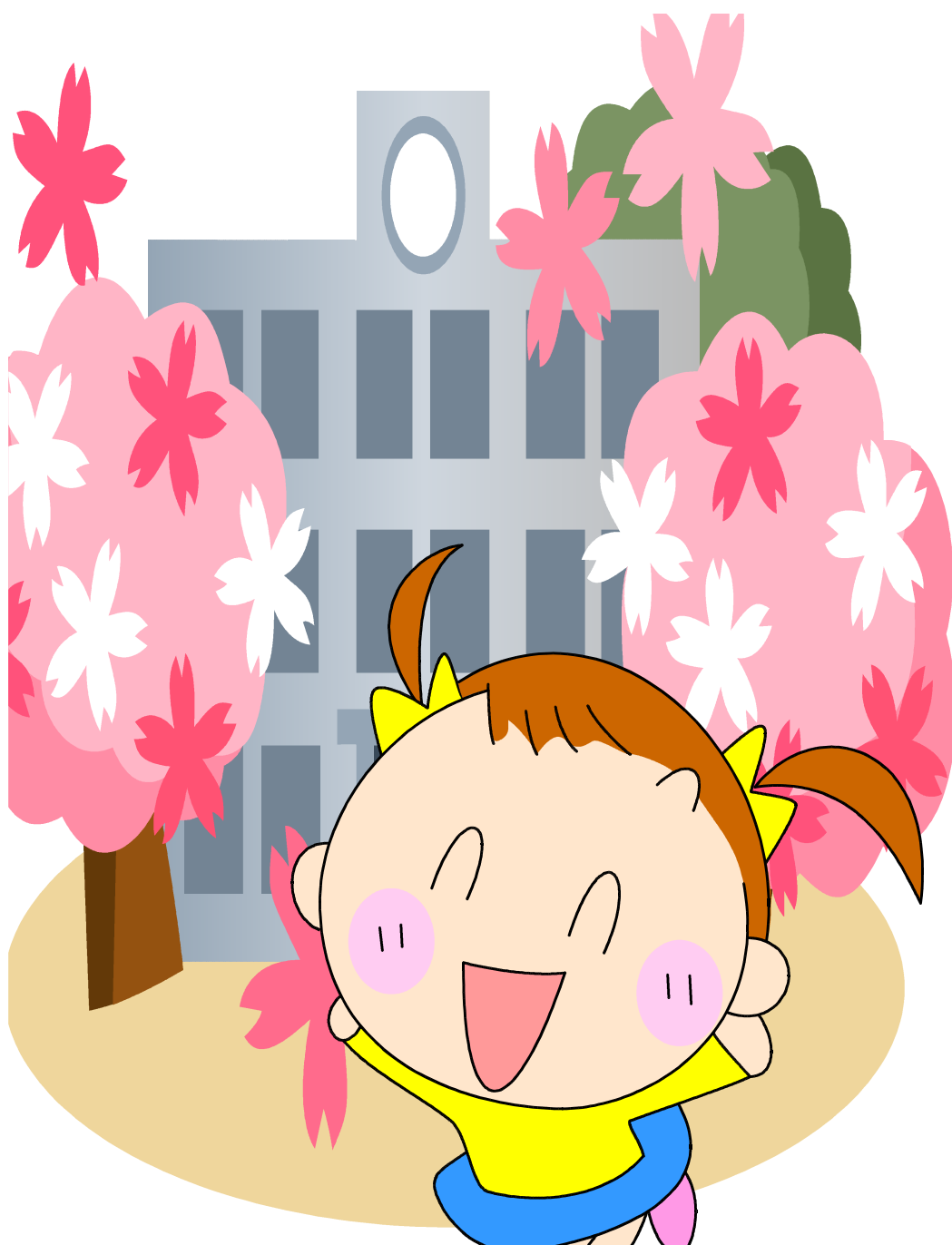
(第31) 図 29



おくの地区社協
さく いいだ あきお

おさるだいいせきのまき

なっちゃんは、おくの
の しょうがくせい。



あるひのこと。なっちゃんが、**おさかのかまくらかい**どうをさんぽしていると みちのきたがわのはやしが、きりひらかれていた。**だいぶつ**さまがよくみえるようになっていた。

びっくり!

そのとき、おかあさんが、ぽつりといった。

「あのあたりに、さいきんいせきが、みつかったらしいよ」

「へー、なんといういせきなの？」

おかあさん、しばらく、かんがえて

「わからないわ」

「ん～、きになっちゃうわ」

ど
う
し
よ
う

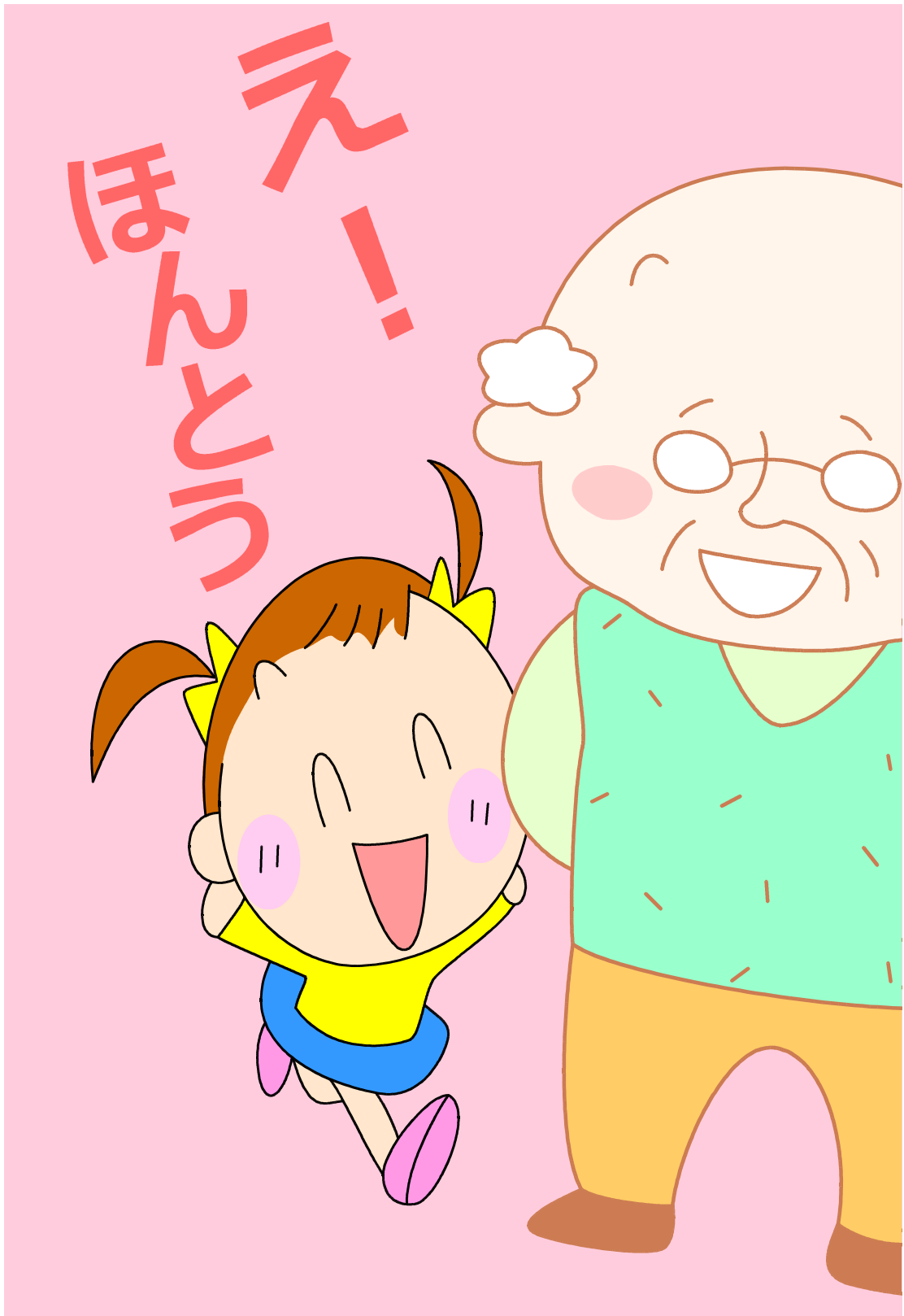


「おじいちゃんにきいて
みよう」

なっちゃん、ものをよ
くしっているおじい
ちゃんに きいてみた。

すると

「ん～、たしかにあたら
しくいせきがみつかった
らしいよ。くわしいこと
は、あきおさんにきいて
みるか。いっしょにいっ
てあげるよ」





さっそく、あきおさんのい
えに いって、きいてみた。
すると、

「いいことにきがついたね。
あれはね。おさるだいいせき
というんだよ」

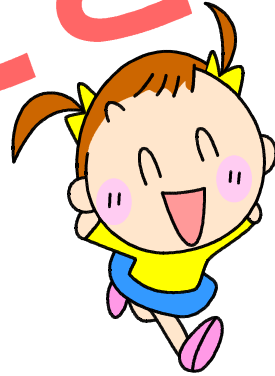
「へー、たくさんおさるさん
が、いたやまなのかな？」

「んー、ちがうんだよ。ちめ
いから「お さ る だ い小申台」となっ
たんだよ。びっくり！もつとくわ
しいことは、としょかんにい
ってしらべてみようか。

あれあれ、これはおもしろそうと、な
ぜなぜくんが、もりからあそびにきたよ。
どこかな？



わくわく
どきどき

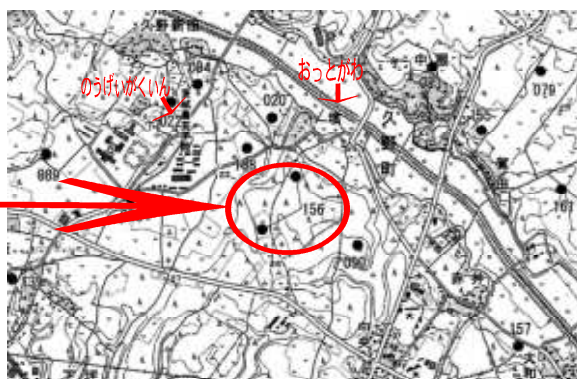


つぎのひ。さんにんは、
としょかんにいった。ま
ず、おさるだいいせきの
ほんをさがした。

「あ！あった」

なかをみてみると、おさ
るだいいせきのしゃしん
があった。

それが、こ
こだ。



じょうくうからのしゃしん



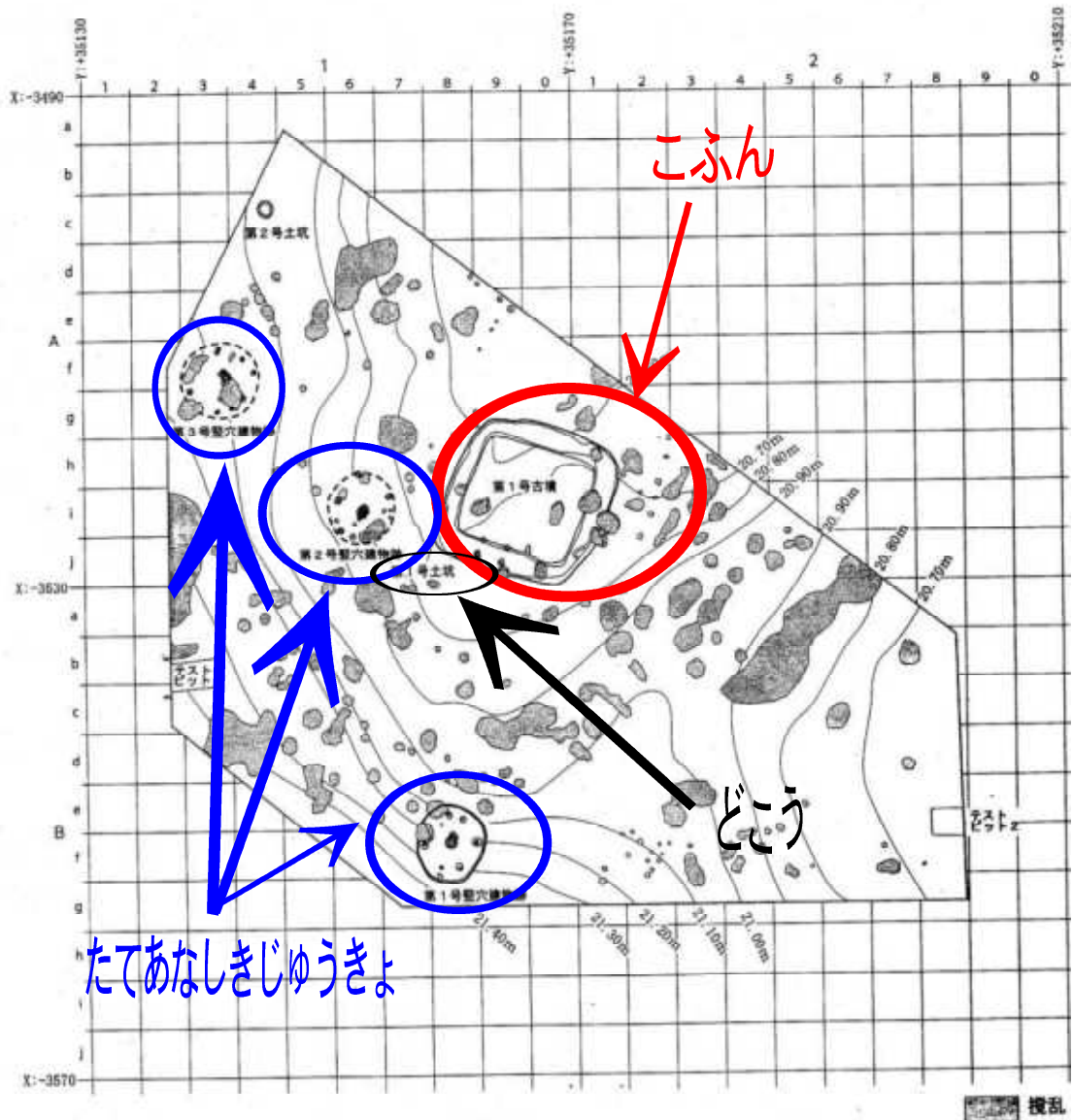
おさるだいいせき

たてあなしきじゆうきよ

ここからでたのは、^{とう}竪^ど穴^{こう}式住居 3
棟・土坑（にんげんが^{つち}をほりく
ぼめてできた^{あな}）なんだ。しかも、
こふんもあったんだ。

びっくり！

これがおさるだいいせきの
ぜんたいすだ。



第1図 小中台遺跡調査区全体図

こふんは、みてわかるようにしかくい方墳^{ほうふん}なんだ。

ここでクイズ。こふんのかたちは、なんしゅるいあるとおもう。

① 2 しゅるい

② 3 しゅるい

③ 4 しゅるい

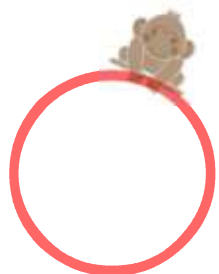
せいかいは？

せいかいは、

「③ 4 しゅるい」

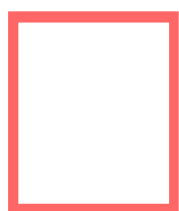
そのなかの

ひとつは、こんなかたち
の



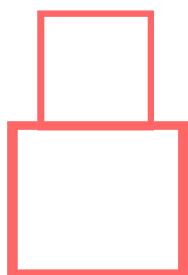
えんぷん。

つぎにこんなかたちの



ほうふん。

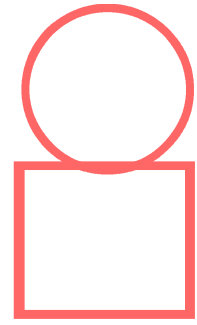
つぎに、こんなかたち
の



ぜんほう

こうほうふん。

そして、さいごは、
ぜんぽう こう えん
ふん。



「どうして、こんなに
かたちがちがうの？」



それはね・・・。やまとちょ
うてい（国）が、かたちやお
おきさで、ごうぞくのみぶん
をあらわしたからなんだ。

では、ここでクイズ。
いちばんみぶんのたかいこふ
んは、なにこぶん？

※こたえは、ぜんぽうこうえんふん（前方後円墳）だ。

ちなみに

2 いは、
ぜんぽうこうほうふん
（前方後方墳）、

3 いは、えんぷん（円墳）

4 いは、ほうふん（方墳）

の　じゅんだ。

「と　いうことは、このこふ
んをつくったひとは、このち
ほうのこうぞくだったんだ」

た て あ な し き じ ゅ う き よ
竪穴式住居は、うばがみい
せきでは、1 5 6 けん。ほう
けいしゅうこうぼ、3 き。ほ
ったてばしらたてもの（堀建
柱建物：高床式倉庫）→



3 とう。と、きぼがお
おきいものだったんだ。ここ
では、3 けんみつかったんだ。

じめんをほって、はんちか
（半地下）にした。そうする
ことで、へやのおんど（温度）
をいっていにたもつことがで
きたんだ。だから、さむいと
ころでは、たてあなが2 mい
じょうのところもあったん
だ。



「ということは、なつは、す
ずしくて、ふゆは、あたたかい
ということか」



「でも、
きをつ
ちにう
めた
ら、く
さっち
やう
よ？」

だから、うめるぶぶんをすこしや
いて、くさりにくくしたんだ
よ。

すごーい

さらに、いえのなかには、
ろがあって、けむりをのがす
あな（孔）があったんだ。だ
から、へやのなかにけむりを
まわし、いぶすことで、くさ
ることをふせいだり、むしよ
けにもなったりしたんだ。

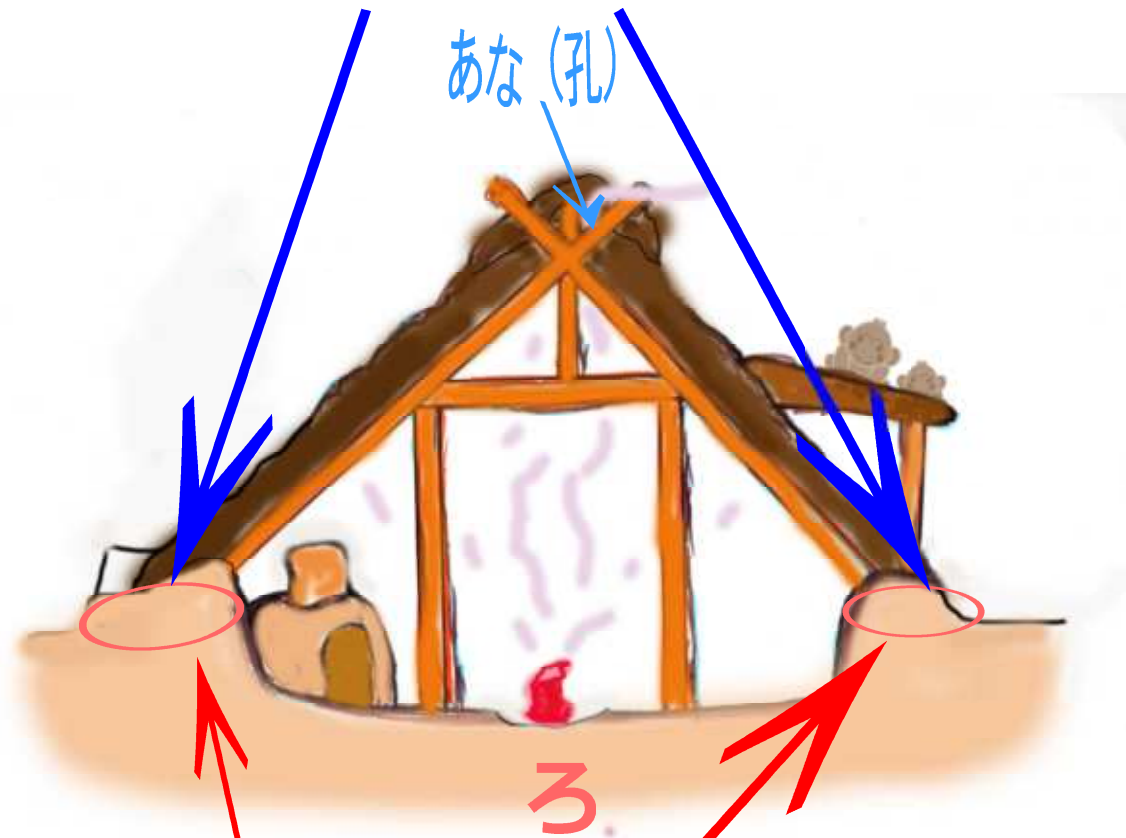
びっくり!

「じめんをほりさげてゆか
（床）にしていた。というこ
とは、おおあめるとき、みず
が、ながれこんでしまうので
は？」

そのために、あなをほった
ときのつちをまわりにもりあ
げたり、やねが、そのそとが
わにくるようにして、みずが
なかにはいることをふせいで
いたんだよ。

びっくり!

たてあなしきじゅうきよのず
そとがわにやね



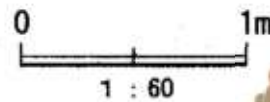
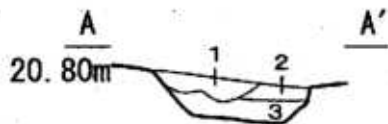
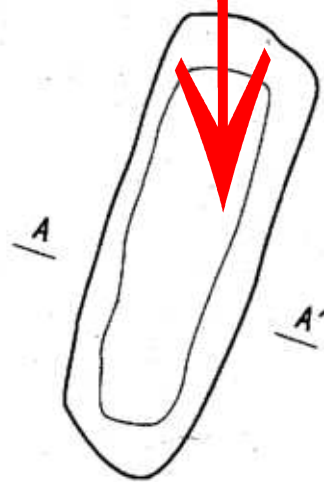
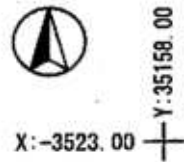
もりあげたつち



「そうだったのか」

どこう 土坑

にんげんが、つちをほりくぼめて できたあなを
いうんだ。



これは

ついそうしせつ

追葬施設（おはか）かもしれないよ。

つぎに、このいせきとまわりのい
せきをしらべてみたよ。



第2図 遺跡の位置と周辺の遺跡

第1表 周辺の遺跡

遺跡番号	遺跡名	種類	時代・時期	遺跡番号	遺跡名	種類	時代・時期
019	久野城跡	城館跡	中世	108	大塚山古墳群	古墳群	縄文・古墳
020	大塚山遺跡	包蔵地	縄文・古墳	139	涌井台遺跡	包蔵地	縄文・古墳・奈平
022	久野貝塚	貝塚	縄文	153	オッポレ貝塚	貝塚	縄文・中世
079	台畑遺跡	包蔵地	縄文・古墳・奈平	155	台遺跡	包蔵地	縄文・古墳・奈平
083	中根後遺跡	集落跡	縄文・奈平・中世	156	小申台遺跡	包蔵地	縄文・古墳・奈平
084	黒引遺跡	包蔵地	縄文・古墳	157	六十塚	塚群	近世
088	向原A遺跡	包蔵地	古墳	158	延命寺山遺跡	包蔵地	縄文・奈平・中世
089	向原B遺跡	包蔵地	縄文	160	屋敷前遺跡	包蔵地	古墳・奈平・近世
090	鱸山遺跡	包蔵地		161	二本松遺跡	包蔵地	縄文・古墳・奈平
093	下宮遺跡	包蔵地	縄文・古墳	187	宮山遺跡	包蔵地	縄文・中世
094	伊勢遺跡	集落跡	古墳・奈平・中世	191	小山遺跡	包蔵地	縄文・古墳
097	上宿遺跡	包蔵地	縄文				

ここから

おさるだいいせきのまわり
は、じょうもんじだいから中
きんせい
近世げんし（原始、こだい古代、ちゅうせい中世、きんせい近世、きんだい近代、げんだい現代）
かけてのいせきが、おつとが
だい ち えん べん ぶ
わにのぞむ台地縁辺部（だい
ちとていちがせつするぶぶん）に
たくさんあることがわかつ
た。

びっくり!



でもね。はっくつちようさ発掘調査のけんすう
がすくないうえに ひょうめんだ
けのちょうさが、ほとんど。ほ
かのいせきとのつながりが、は
っきりわからないんだって。
こんかいのはっくつで、それが

わかるかな？

まずは、みつかったものから。

このいせきからこんなものがみつかったよ。なんだとおもう？



ふ か ば ち こうけい ちよつけい
深鉢 口径（くちの直径）よりたかいもの。

※なにに つかっていたの？
たべものをにたり やいたり
したんだよ。そうか！



そのほか、こんなものもみつかったよ。

だ せ い せ き ふ
打製石斧

ながさ 11 cm くらいのたいらないしをちいさくわって、たいてかたちをとのえたもの。

ま せ い せ き ふ
磨製石斧

ながさ 11 cm くらいで木をきる斧として使ったんだ。材料のいしは、かたくてねばりけがあるが、あるみどりいろの蛇紋岩がおおくつかわれていたんだ。



こ が た ま せ い せ き ふ
小型磨製石斧

ながさ 4 cm くらい。りょうがわをみがき両刃になっていた。

は く へ ん せ つ き
剥片石器

こくようせき 黒曜石をうち欠いてつくったうすいかけら（剥片）からつくったせっき。ながさ 2 cm くらいであつさが、0.7 mm くらい。



でも、こくようせきって、
このあたりでとれないはず？



ない



このあたりには

ない!

では、いったい どこから

どのように

もってきたのかな？

そこで、まず**こくようせき**が、しゅつどしているところをしらべてみた。



※ 1 しもかわらざきやなかだい いせき 下河原崎谷中台遺跡 (つくば市)

ここでは**こくようせき****黒曜石**・**め の う****瑪瑙** (せきえい けつしよう 石英の結晶)・**デ**
イサイト製せいのナイフ形石器や、**こくようせき****黒曜石**
・**けつがん****頁岩** (うすくはげやすいがんせき)・**め の う****瑪瑙**・**くろいろあんざん****黒色安山**
がん**岩**・**ろとろ石**・**チャート**などの剥片
(うすいかけら) **るい****類**や**れき****礫**が**かずおお****数多く**出土。出土総
点数は約 2800 点。県内でも有数の旧石器時代きゅうせつ き じ だいの遺跡だ。



※ 2 ひがしこうち きた いせき 東耕地北遺跡 (つくばみらい市)

ここからでた旧石器時代きゅうせつ き じ だいの遺物いぶつは、
こくようせき**黒曜石**・**けつがん****頁岩**・**あんざんがん****安山岩**・**め の う****瑪瑙**など、い
くつかの石材をつかっていたことがわかった。

※ 3 高野南遺跡 (つくば市)



おもないぶつは、ナイフ形石器・削器 (木や骨などを削る) ・黒曜石剥片などだ。

※ 4 宮脇 A ・ 泉前遺跡 (日立市)

かがくぶんせきのけっか

宮脇 A 遺跡から出土した搔器 (そぎおとすせっき) は、山形県の月山系の黒曜石を材料としていた。

泉前遺跡から出土した剥片は、栃木県の高原山系の黒曜石を用いたもの。

と わかった。

さらに、筑波・稲敷台地の遺跡では、東北産 (秋田の男鹿や岩手) の黒曜石製細石器の存在が指摘されている (窪田, 2009)。

これらのことから、このじだいに、東北地方から茨城県へのはこぶルートが、できていたことがうかがえる。

しかし、

やはり^{とちぎけん}栃木県の^{たかはらやまけい}高原山系の^{こくようせき}黒曜石が
おおかったようだ。ちかいからね。

^{たかはらやまさん}高原山産の^{こくようせき}黒曜石は、^{かんとう}関東から^{とうほく}東北
^{ちほうなんぶ}地方南部の^{いせき}遺跡でみつかっているが、
とくにおおいのは、^{ちばけん}千葉県や^{いばらきけん}茨城県だ
とか。もっともおいところでは、^{たか}高
^{はらやま}原山からやく200kmもはなれた^{しずおかけん}静岡県
^{みしまし}三島市の^{やまなかじょうあと}山中城跡でみつかっているん
だって。



びっくり!

ちなみに、^{いばらきけん}茨城県の^{いせき}遺跡からみつかっている^{やじり}やじりは、
ほとんどが、^{たかはらやま}高原山の^{こくようせき}黒曜石をつかっているんだってよ。

このほか

かんとう ちほう たかはらやま
関東地方では、高原山のほかに、
ながの けん わだとうげ
長野県の和田峠のあたり、
はこね いず しよとう かしわとうげ いず
箱根や伊豆諸島の柏峠、伊豆
の神津島の黒曜石がつかわれていることがわかって
いるんだ。



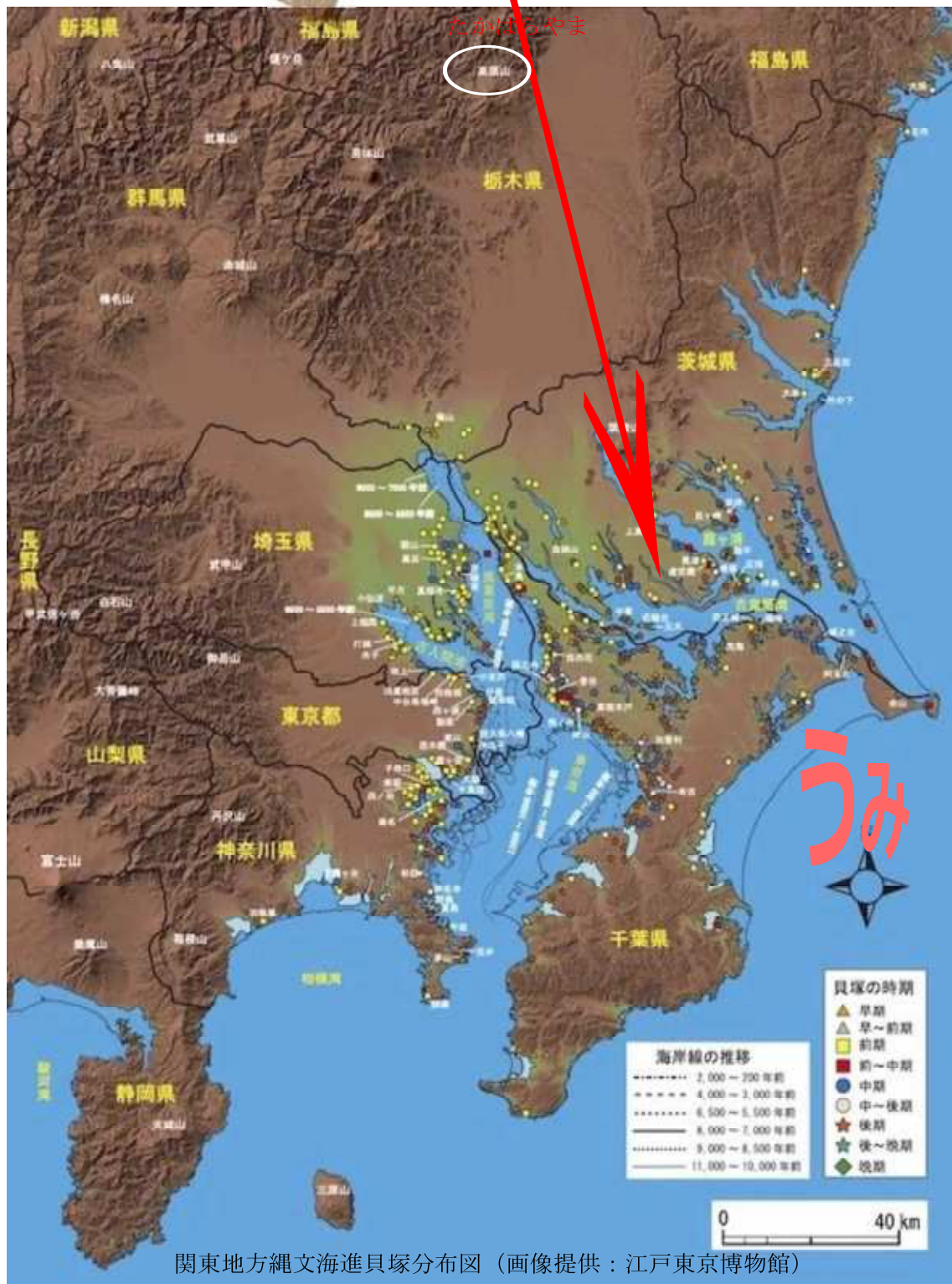
こうづしますなぬかさきばるさんち
神津島 砂糠崎 原産地

びっくり!



どうやって はこんだのかな？

このちずのあおいところは、うみだったそう。おさるだいいせきはこのあたり？



関東地方縄文海進貝塚分布図（画像提供：江戸東京博物館）

ん～



おさるだいいせきの^{こくようせき}黒曜石は、どこからきたのか？

^{たかはらやま}高原山（^{とちぎ}栃木）・^{がつさん}月山（^{やまがた}山形）・^{おが}男鹿（^{あきた}秋田）それとも？

いずれにしても、おさるだいいせきを^{こだいじん}とのおしておくのちくの古代人のちえが、すばらしいことがわかった。

あ～



たのしかった！



「また、こよーっと」

やっぱり、おさるだいいせきはすごい。おくのちくのじょうもんじんのちえとあせと なみだが、わかってくるようなきがして・・・。

やっぱりおさるだいいせきは、**おくのちく**のたからものなんだね。



さて、こんどは、なにをし
らべようかな？

あれあれ？「すごーく、たのしかった」と なぜな
ぜくん。つぎのひみつをもとめてスキップしながら
かえっていった。



またね

(「小申台遺跡」 出版社 Ushikushi kyoiku iinkai, 2019 参照)